

暗殺される直前のケネディ大統領



2001年9月11日、ユナイテッド航空
93便の機体の破片



2005年3月23日テキサスシティ
精油所爆発直後の情景

忘れてはいけない!

2010年2月 (第100号)

次の日付に共通しているのは何であろうか? 1941年12月7日、1963年11月22日、2001年9月11日。これらは何れも合衆国の皆がいつまでも記憶している出来事の日である。不幸なことにこれらは悲しい出来事であった—真珠湾攻撃、ケネディ大統領暗殺、そしてニューヨークのワールドセンターへのテロリストの攻撃。これらは合衆国の我々が記憶している日にちである。あなた方の文化あるいは国での出来事と日付は違っており、上記の出来事はそれほど記憶に残らないかもしれない—要するに、多くの国は1941年12月以前の数年間は戦争状態にあり、他の多くの国々はテロリストの攻撃を受けていた。あなた方の歴史上の重要な日に思いを巡らせ、何故それらを記憶しているか考えてご覧下さい。

1969年7月20日はどうか? あなたはこの日を知っているだろうか。これは人が初めて月面を歩いた日だ。これは歴史上輝かしい日だが、多分あまりよく記憶されていないだろう。何故か? 心理学的には、我々は良いことより悪いことを記憶しがちである。悪いことを思い出すと痛みや喪失感を引き起こすが、我々は記憶し続ける。

重大なプロセス事故についても同じである。来月は死者15人と負傷者180人を出したテキサスシティの精油所の爆発事故から5年になる。全ての会社の歴史において重大事故のために記憶される日がある。各社の記念日においてこれらを振り返る行事があるだろうか? おそらく無いだろう、しかしこれらは最上の成功製品の発売と同程度に重要である。これらを想い出すことは、特に親しい友人や仕事仲間を失った人々には痛みを伴う経験だが、我々がこれらの悲劇を決して二度と繰り返さないために、これらを記憶に留めておかなければならない。

知っていますか?

- 世界中のプロセス産業は、操業するプラントの種類や使用する物質とプロセスによって決まってくるのだが、ある共通の文化を形成する。この文化は国境を越えるものであり、我々が決して忘れてはならない歴史上の日がある。その内の二つは、2009年11月と12月のBeaconで回顧された—1984年11月19日(メキシコシティLPGターミナルの火災爆発)と1984年12月3日(インド、ポパール有毒ガス放出)である。
- 「人は歴史から得られる教訓を無視しようとしているように見える」—アメリカの植物学者で世界の食糧供給への貢献により1970年ノーベル平和賞を受賞したNorman Borlaug氏の言葉
- 「我々は現在に生き、将来を夢見る、しかし我々は過去から永遠の真実を学ぶ」— 蒋介石夫人

あなたにできること

- 過去の事故について先輩に聞くこと。重大な爆発でなくとも、事故を起こしそうになった混乱または品質や運転上大きな問題を起こしたプロセス欠陥でも良い。
- 過去の事故を文書化し、人々が容易に復習できるようにすること。
- プラントの門衛から管理者までの全ての人達が学ぶことが出来るように、これらの教訓を新しい人たちと共有すること。
- 起こり得ることを全ての人に留意させるために、プロセス危険分析や他の危険性評価を通して過去の出来事に関する記録を利用すること。
- 他のどこかで起こった事故と、それらが決してあなたところで起こらないようにするには何が必要かを理解するために、Beaconを読み、かつ共有すること!

“この世の中のことは、すべて歴史から知ることができる”
— 合衆国大統領、ハリー・S・トルーマン